

The second secon









Mhy?

マレーシア留学の特徴

英語環境がアジアではトップクラス

公用語はマレー語(マレーシア語)ですが、旧宗主国が英国であったため、英語も日常的に使われています。英語教育に力を入れていて、スウェーデンの研究機関「Education First」の調査(2018年)によると、アジアにおけるマレーシアの英語力は、シンガポール、フィリピンに次いで3位。世界全体でみると22位(日本は49位)です。

欧米諸国の大学へ編入できる「ツイニングプログラム」

ツイニングプログラムは、マレーシアで勉強後にイギリスやオーストラリアなどの大学に編入する制度です。学位は提携先(卒業先)の大学でのみ取得できます。2+1型や1+2型、3+0型があり、前者の数字がマレーシア、後者が提携先での就学期間を示します。メリットはマレーシアでの留学期間に学費と生活費を節約し、最終的に欧米の名門大学で学べること。メリットはマレーシアでの留学期間に学費と生活費を節約できる点です。

旅費・滞在費が割安

マレーシアの物価は日本の約1/3といわれており、他国と比較して、全般的な滞在コストをかなり抑えることができます。直行便が多く、航空運賃も比較的割安に手配することが可能です。また、現地の機関も日本との交流に積極的で、小学入学前の小さな子ども向けから大学生向けまで学習プログラムは多数。さまざまな年代の留学プログラムや教育旅行が多く実施されています。



University マレージアの大学について

学位(学士や修士、博士)を取得できるカレッジ・大学は基本的に3年制で、日本のように国立大学と私立大学があります。国立大学の学生はほとんどが現地生で、マレー語で授業をします。専攻にはマレーシアやイスラム教についてなど、マレーシア独特のものがあるのが特徴です。私立大学は留学生の受け入れに積極的で、全ての講義を英語で開講しています。専攻はビジネスやホスピタリティ、ITといった職業に関するものに強く、デュアルディグリーやツイニングの制度が整っています。ほとんどの留学生の留学先は、私立のUniversityか海外の大学の分校です。これらの学校では英語で授業が受けられるほか、進学前の英語コース(ESL)が開講されているため、英語での学習環境が整っています。

海外大学のブランチ・サテライトオフィス

欧米の大学の分校です。オーストラリアのMonash UniversityやイギリスのUniversity of Nottinghamなど、世界トップレベルの大学があります。マレーシアにいながら本校と同じ質の教育が受けられ、同等の学位が取得できます。入学基準(高校の成績や英語力)は、マレーシアの大学と比較すると少し高めです。しかし学費がマレーシアの水準に合わせてあるため、本校で留学するよりも留学費用を抑えられるメリットがあります。

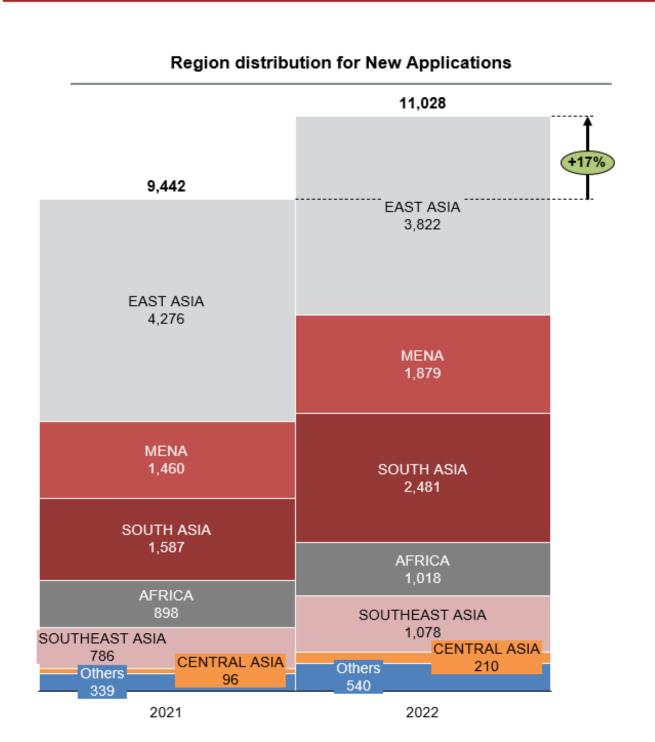




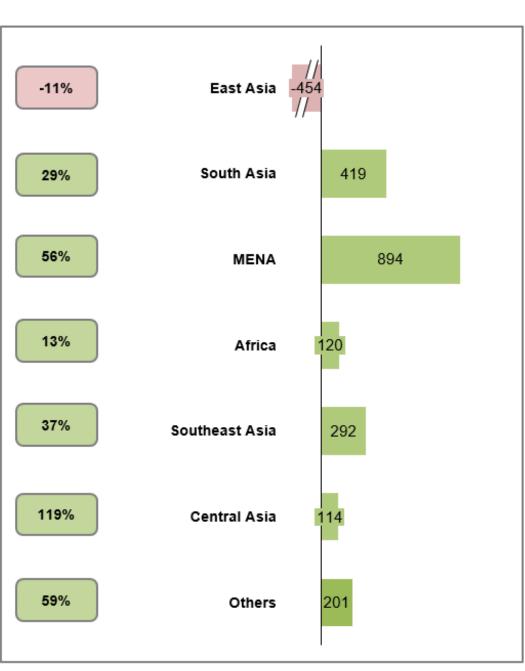
MALL WORLD

2022年10月-2022年12月のデータ ※出典: Education Malaysia

Where do these students come from?







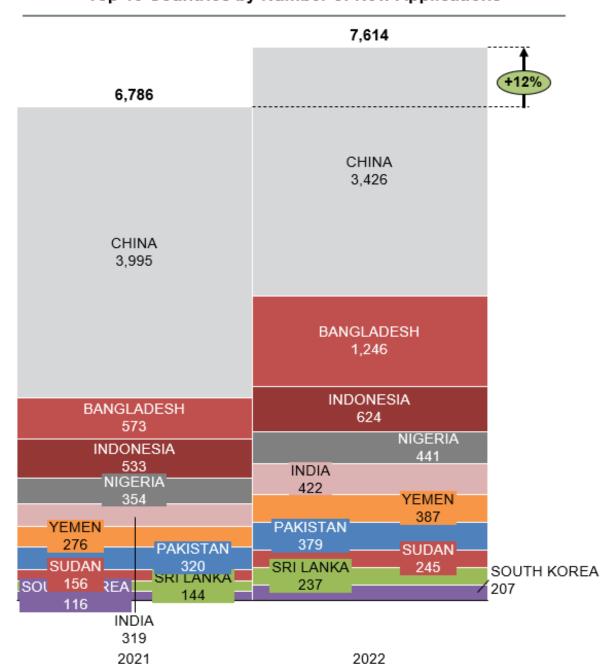




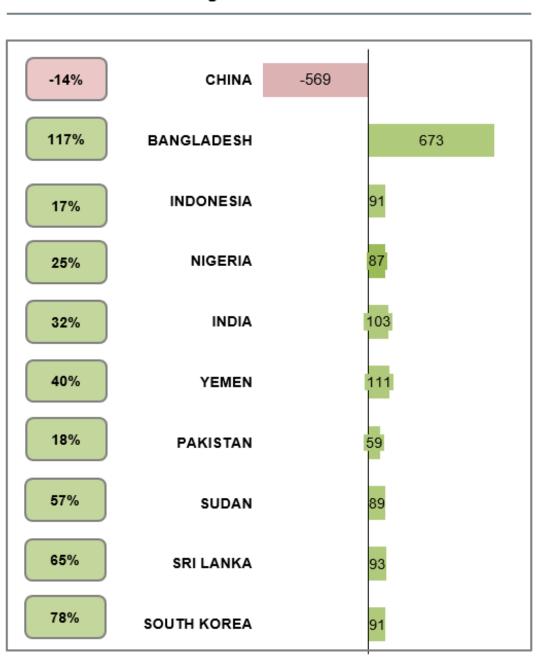
2022年10月-2022年12月のデータ ※出典: Education Malaysia

Where do these students come from?

Top 10 Countries by Number of New Applications



Change from 2021 - 2022



Note: New Applications Received (October - December) for year 2021 & 2022



Panking マレーシアの大学ランキング

※出典:QS World University Rankings 2023

大学名	国内順位世界ランキング	国内順位アジアランキング	世界順位	アジア順位
マラヤ大学(UM)	1	1	70	8
マレーシアプトラ大学(UPM)	2	2	123	27
マレーシア国民大学(UKM)	3	3	129	33
マレーシア科学大学(USM)	4	4	143	35
マレーシア工科大学(UTM)	5	5	203	38
テイラーズ大学	6	6	284	53
UCSI大学	6	8	284	77
ペトロナス工科大学(UTP)	8	7	361	72
マレーシア北大学(UUM)	9	9	481	98
マネジメント&サイエンス大学 (MSU)	10	15	601~650	147
サンウェイ大学	10	11	601~650	121



ータックラックの大学進学方法

マレーシアの大学受験に入試はなく、高校の成績と英語力で合否が判定されます。入学条件を満たしていれば、日本の高校卒業後に直接大学へ進学することが可能です。日本からの留学の場合は、英語力強化や成績不足を補うために、ファウンデーションコースや英語コースを受講してからの進学が一般的です。

ファンデーションコースの進学

成績や英語力で入学条件を満たせない人は、英語での基礎学力強化や大学で必要なスキルを身につけるためのファウンデーションコースを受講します。進学先がイギリスやオーストラリアの大学とのダブルディグリーを認めている大学の場合、ファウンデーションコースを受講する必要があります。

高校の成績と英語力について

必要な成績と英語力は、大学によって異なります。成績の目安は、高校3年間の成績が5段階評価で平均3.0以上です。成績が大学の入学条件を満たせなかった場合、ファウンデーションコースの履修を条件に合格となることがあります。 英語力の目安はIELTS 5.5以上、TOEFL ibt 75以上です。英語力が足りない場合は、大学併設の英語コース(ESL)の受講を条件に合格となることがあります

入学審査について

書類審査で合否が決まります。審査では主に日本の高校での成績と、希望の専攻に関連する科目の履修の有無、英語力が考慮されます。

出願書類について ※大学によって異なります

入学願書

高校の成績証明書(日本語・英語)

高校の卒業証明書(日本語・英語)

英語試験のスコア(IELTSとTOEFLどちらも可)

健康診断書

滞在寮申込書(寮に滞在する場合)

修得単位を証明できる書類(必要な場合)



マレーシアの大学進学方法-2

進学ルート3パターン

大学語学コース → ファンデーションコース → 本課程入学

各大学が語学コースを開講しているので、その大学に進学することを前提に語学コースを受講することができます。語学コースも進学カリキュラムの一環として組み込まれている大学も多く、語学コース受講期間も決まっている場合、語学コース入学にも英語力が必要で、完全初心者の方を受け入れてくれる大学とそうでない大学があります。

他国又はマレーシアで語学留学 → ファンデーションコース →本課程入学

上記のように大学の語学コースに入学するだけの英語力がない場合、他国またはマレーシアで民間の語学学校に通う必要があります。 通常の語学留学はイギリスやアメリカ、オーストラリア等の欧米諸国が人気ですが、費用が高く、勉強時間も比較的短い為、アジア圏への留学近の主流です。代表例としてはフィリピン留学で、全寮制でマンツーマンレッスンがあり、短期間で劇的に英語力が伸びることで知られています。 欧米諸国での留学の場合、3か月程度でやっと話せるようになるといったところですが、フィリピンですと初心者の方がIELTSコースを3か月すると大体5.0~5.5程度、場合によっては6.0というスコアを実際に取得して帰国されています。

本課程入学

英語力が十分であれば必ずしも本課程に直接入学できるわけではなく、本課程の学科が他国の提携大学のカリキュラムを採用していて、特にそれがイギリスの大学だった場合、英語力があってもファンデーションコースを必須としている大学もあれば、イギリスの大学でも提携先に了承を得てファンデーションコースを免除できる大学もあります。





SUNWAY UNIVERSITY

マレーシアの財閥企業サンウェイの財団が運営している大学で、国内だけでなく、世界的にも高い知名度を誇ります。

大半のプログラムが、イギリス・ラッセルグ ループの名門ランカスター大学(ビジネスス クールはAACSB認定)とのデュアルディグ リープログラムです

Milensity

HENDERSON

サンウェイは国中にショッピングモールやテーマパークを持つ、不動産系の巨大企業の財閥です。そのため3キャンパスとも、各都市で最も便利なショッピングエリアで、テーマパークがそばにある好立地です。付属のサンウェイカレッジでは、オーストラリア・ビクトリア大学のビジネスプログラムを開講しており、マレーシア国内で卒業、またはオーストラリア校に編入をすることができます。最寄りの系列大学であるモナシュ大学マレーシア校のファンデーションプログラムも開講しています。サンウェイ大学の学士号プログラムに進学するには、日本の高校を卒業後に1年制ファンデーションプログラムを修了する必要があるプログラムがほとんどです。



サンウェイ大学について

正式名称	Sunway UniversitySunway College Johor BharuSunway College Ipoh	
創立年	1987年	
大学形態	私立大学	
学生総数	8,000人(クアラルンプールキャンパス)	
留学生の割合	2,000人(クアラルンプールキャンパス)	
場所	スランゴル州プタリンジャヤ・サンウェイシティジョホール州ジョホールバル ペラ州イポー	
標準履修期間	学士:3~4年修士:1~2年博士:3年	
入学時期	専門課程:1,3,8月など(コースによる)付属英語コース・サンウェイファン デーションプログラム:1,4,7,9月モナシュ大学ファンデーションプログラ ム:1,3,7,8月	
出願時期	学期開始の約3か月前まで	
必要な英語スコア	専門課程:IELTS6.0(コースによる)サンウェイファンデーション: IELTS5.5(文系・理系とも)モナシュ大学ファンデーション:IELTS5.5(ラ イティング5.5、その他5.0)付属英語コース:不要	
付属英語コース	あり(専門課程進学予定者のみ受講可能)	
成績条件	高校の評定平均3.0/5以上など(コースによる)	



世界ランキング

世界第601~650位(QS)

世界第146位(ランカスター大学のランク・QS)

世界インパクトランキング第301~400位(Times Higher Education)

分野別ランキング

ホスピタリティ&レジャーマネジメント第101~150位(国内4位)(QS) ビジネス&マネジメント第451~500位(国内11位)(QS) ビジネス&マネジメント第70位(ランカスター大学のランク)(QS)

会計&ファイナンス第64位(ランカスター大学のランク)(QS)

コンピュータサイエンス&情報システム第135位(ランカスター大学のランク)(QS)

生物学第401~450位(ランカスター大学のランク)(QS)